

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	精神科看護師の患者に対する怒りの感情に関する研究				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	小泉 祐貴
	研究分担者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	篁 宗一
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	小泉 祐貴

講演題目	精神科看護師の患者に対する怒りの感情とその対処の特徴と関連
------	-------------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望	<p>研究目的) 厚生労働省が実施した調査によれば、精神科医療現場における患者への虐待例は 2019 年迄の 5 年間で 72 件みられており、著しく他科と比較して多い。その背景には精神科特例に基づく看護人員の配置の少なさ、病棟が密閉空間であること、患者が訴えにくい症状を有する等の理由があり、中でも患者に対する“怒り”の感情は暴力と深く関わっているとされる。看護師の患者への暴力防止の観点から、怒りの対処スキルを高める取り組みとして“アンガーマネジメント”が示され(2022, 厚生労働省)、令和 6 年 4 月には、医療機関における虐待防止の措置の義務化、通報の義務化(精神保健福祉法改正による)がなされ、精神科医療における虐待への対応や教育の拡充が求められている。そこで本研究は精神科医療における暴力・虐待という問題に対して、精神科看護師の患者に対する怒りに着目し、精神科看護師が患者に対して抱く“怒り”の内容と認識にどのような特徴があるのか、また怒りの感情に対する支援のニーズを明らかにする。</p> <p>成果と今後の展望) まず精神科看護師の患者に対する怒りや虐待及びアンガーマネジメントに関する文献検討を実施。加えて、精神科医療における暴力や虐待事例に関する行政機関や精神看護に関する学術団体の公開している資料等を収集した。精神科病院における障害者虐待防止の手引き(2023, 日本精神科看護協会)や精神科医療現場の虐待防止動画(2024, 日本精神保健看護学会)が公開され、組織風土の改善に併せて、看護師個人の怒りを中心とした感情コントロールの必要性が注目されている。一方で、精神科看護師へのアンガーマネジメントには理解の不足や、プログラム内容の乏しさがみられ、現場には十分浸透していないといった側面が報告されている。</p> <p>また報告者の「精神科看護師の患者に対する怒りの感情とその対処(2023)」の研究で得られたインタビュー内容を再度質的記述的に分析しカテゴリーの再構築とカテゴリーの関連性の検討を行った(【カテゴリー】)。その結果、【自分を否定されたり、理不尽な対応をされた時に怒りを覚える】が示され、患者からの言語的な暴力に対して無防備であり怒りを強く感じる可能性が示された。また求める支援としては【チームとして対処することで安心感を得ながら患者に関わる】、【現場に即した統合的なアンガーマネジメントに関する教育】が示され、周囲の環境調整及び看護師自身の研鑽に関わる支援の充足が重要であることが示唆された。本研究から得られた内容は、アンガーマネジメントにおける改善策や対策の資料として活用していく。また組織におけるアンガーマネジメント体制に関する課題を明確にし、病棟レベルのトレーニングや教育プログラムの策定についても今後検討していく。</p>
-----------------	--